

歯科学統合演習VI b

責任者名：黒川 弘康

学期：後期

対象学年：6年

授業形式等：演習

◆担当教員

各講座の学習指導委員が担当する。

黒川 弘康(歯科保存学Ⅰ 准教授)

高橋 富久(解剖学Ⅰ 教授)

山崎 洋介(解剖学Ⅱ 准教授)

津田 啓方(生化学 准教授)

近藤 真啓(生理学 専任講師)

藤田 智史(薬理学 准教授)

神尾 宜昌(細菌学 准教授)

関野 麗子(歯科麻酔学 助教)

新井 嘉則(歯科放射線学 特任教授)

江島 堅一郎(歯科放射線学 専任講師)

浅野 正岳(病理学 教授)

尾曲 大輔(病理学 助教)

篠塚 啓二(口腔外科学 助教)

白土 博司(口腔外科学 助教)

岡田 明子(口腔診断学 准教授)

米山 隆之(歯科理工学 教授)

伊藤 智加(歯科補綴学Ⅰ 専任講師)

浦田 健太郎(歯科補綴学Ⅰ 助教)

大山 哲生(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)

小峰 太(歯科補綴学Ⅲ 准教授)

佐藤 光保(摂食機能療法学 助教)

川戸 貴行(衛生学 教授)

中井 久美子(衛生学 助教)

三井 教裕(衛生学 兼任講師)

上原 任(医療人間科学 専任講師)

堤 博文(法医学 専任講師)

羽鳥 啓介(歯科保存学Ⅱ 助教)

蓮池 聡(歯科保存学Ⅲ 助教)

武井 浩樹(小児歯科学 助教)

鈴木 里奈(歯科矯正学 兼任講師)

稲葉 瑞樹(歯科矯正学 助教)

鈴木 直人(生化学 教授)

◆一般目標 (GIO)

演習と自己学修から、歯科学統合演習VIa で得た学力の一層の向上を図り、歯科医師国家試験の必修、一般問題および臨床実地問題に対応するための応用的な知識を修得する。

◆到達目標 (SBO s)

- ① 歯科基礎医学に必要な応用的知識を修得する。
- ② 歯科臨床医学に必要な応用的知識を修得する。
- ③ 社会歯科医学に必要な応用的知識を修得する。
- ④ 臨床実地科目に必要な応用的知識を修得する。

◆評価方法

本演習の受講には、歯科学統合演習VIa の履修完了が必要条件となる。

統合試験VIb①～④の成績で評価する。

評価方法は成績評価表示とし、統合試験VIb①～④の総合で得点率が67%以上かつ統合試験VIb④単独の得点率が67%以上で履修完了とする。

再試験および追試験は行わないため、欠席することのないよう日頃から体調管理を心掛けること。

なお、統合試験VIb①～④は、指定された日時で該当する科目の試験問題について解説を行う。

欠席を認めない。各範囲（統合試験VIb①～④に対応する演習・講義）で欠席が4コマ以上の場合、該当する統合試験VIbの受験を停止する。

1限および4限の演習・講義の出欠確認は、授業開始10分前（8:50あるいは12:50）から、所定用紙への学生自身の記名によって行う。なお、授業開始5分後（9:05あるいは13:05）までは対応するが、これ以降は欠席扱いとする。

2限、3限、5限、6限および7限の演習・講義の出欠確認は、授業開始5分後に出席カードをもって確認する。この時点で不在の場合、欠席扱いとする。

欠席、公欠、忌引等の場合、登校後速やかに（欠席予定の場合は事前に）教科担当責任者まで欠席届等を提出すること。なお、学習指導委員会で欠席届を確認し、正当かつやむを得ない理由によるものと判断された場合のみ、欠席を解除することがある。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
黒川 弘康	月曜日 17:00～18:00 歯科保存学第I講座研究室	kurokawa.hiroyasu@nihon-u.ac.jp 03-3219-8141	各講座の学習指導委員が担当する。教員が多数のため、オフィスアワーは教科担当責任者のみ記載してある。必要に応じて各担当教員とアポイントを取り、学修効果の向上に努めること。

◆学修目標

歯科基礎医学、歯科臨床医学、社会歯科医学および臨床実地科目について、講義・模擬試験・解説の形式で実施する。演習と自己学修から、歯科医師国家試験の必修、一般問題および臨床実地問題に対応できるだけの応用的な知

識を身に付ける。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	指定しない。			
参考書 1	平成 30 年版歯科医師国家試験出題基準（厚生労働省監修）			
参考書 2	最新版歯科医師国家試験問題集		指定しない。	
プリント配付				

◆DP・CP

[DP-1] 医の尊厳を理解し、法と倫理に基づいた医療を実践するために必要な豊かな教養と歯科医学の知識を修得できる。

[CP2-2] 医療倫理を厳守し患者の権利を尊重できる医療人としての素養を身につける。

[CP5-3] 患者(個人)情報を適切に扱い、歯科医師の義務や医療倫理を遵守し、患者に寄り添うことができる。

[DP-2] 国際社会の現状と背景を理解し、地域社会における医療・保健・福祉の役割が説明できる。

[CP3-1] 保健・医療・福祉の現状を理解し、その在り方を説明できる。

[DP-3] 多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[CP1-4] 社会に貢献できる医療人となるために、幅広い教養と総合的な判断力を得ることができる。

[CP5-1] 医療推論に必要な医学知識を基に適切に診断し、治療計画を立案できる。

[CP5-4] 臨床の体系的な知識および診査・診断と治療技能に関する基本的事項が修得できる。

[DP-4] 自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[CP2-1] 新たな知見を生み出すために、歯科医学の基礎的知識を身につけることができる。

[CP3-3] 基礎医学および歯科医学の知識を身につけ、臨床的な視点から問題を抽出できる。

[CP4-1] 情報を収集し、分析した結果から問題点を抽出できる。

[CP4-2] 歯科医学に関する体系的知識を習得し、臨床的な視点から問題を解決することができる。

[CP4-4] 最先端の歯科医学に関する知識を修得し、自らが取り組むべき課題を探求することができる。

◆準備学習(予習・復習)

歯科学統合演習VIa で履修した内容を理解し、歯科基礎および歯科臨床科目の復習を十分に行うこと。歯科医師国家試験問題集を学修しておくこと。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

歯科基礎医学， 歯科臨床医学， 社会歯科医学および臨床実地科目。

◆予定表

歯科学統合演習VIb 実施の詳細については， 配付資料をもって7月に伝達する。

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
			1 ～ 6	歯科基礎医学， 歯 科臨床医学， 社会 歯科医学および臨 床実地科目 平成 30 年 8 月 1 日 ～ 平成 30 年 12 月 26 日 ※詳細は別途通知	歯科医師国家試験の必修， 一般問題 および臨床実地問題に対応できる応 用的な知識を身に付ける。	学習指導委 員	

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
学習指導委員	1179	黒川 弘康
	863	堤 博文
	999	鈴木 直人
	1025	浅野 正岳
	1068	高橋 富久
	1121	江島 堅一郎
	1166	小峰 太
	1239	大山 哲生
	1280	川戸 貴行
	1291	上原 任
	1316	山崎 洋介
	1343	藤田 智史
	1376	岡田 明子
	1533	近藤 真啓
	1538	津田 啓方
	1552	伊藤 智加
	1582	米山 隆之
	1753	新井 嘉則
	2016	鈴木 里奈
	2136	神尾 宜昌
	2158	尾曲 大輔
	2168	稲葉 瑞樹
	2208	関野 麗子
	2292	武井 浩樹
	2294	羽鳥 啓介
	2298	蓮池 聡
	2422	白土 博司
	2562	佐藤 光保
	2564	中井 久美子
	2725	浦田 健太郎
	2848	篠塚 啓二
	2000013	三井 教裕

